



20060406 [05-08] 総 116号 発行 桂坂自治連合会 広報編集部

「子どもを守る」桂坂

第一期事業を終わらせて

桂坂自治連合会 副会長 星野義一

自然災害や犯罪など市民生活を脅かす種々の危険

や不安がある状況を踏まえ住民の誰もが安心できる安全なまちを目指す京都市から桂坂は、「地域の安心安全ネットワーク形成事業」の平成17年度のモデル地区として指定を受けました。

これに基づき昨年9月、自治連合会の中に「桂坂学区自治連合会安全推進委員会」を立ち上げ、「子どもを守る」ことを重点スローガンに定めて、自治連合会と小学校PTAを中心に自治会、各種団体、学校等により様々な活動に取り組んできました。今年2月末日で、この第一期事業も大過なく、無事終了いたしました。先ずもって皆様のご協力に感謝申し上げます。

の発行

- (2) 小学校安全対策マニュアルの普及
(3) 桂坂小学校PTAによる安全対策のネットワーク化
(4) PTA行事の「形成事業」への組み込み
(5) 活動報告書「桂坂学区安全白書」の作成

という五つの取組みです。具体的には、「子ども110番のいえ」を二〇軒から一一〇軒に増設

- 広報「桂坂」の紙面に本事業のコーナーを設置(一一三号より掲載)
● 子どもを守る二ユーズレターの発行
第1号 平成17年11月5日発行
第2号 平成17年12月10日発行
第3号 平成18年2月4日発行

- カザラツカコンサート(平成17年10月15日開催)の会場において「形成事業」に関するブースの設置
● 桂坂学区総合防災訓練への子どもたちの参画等の事業をはじめ、自治連合会の定例役員会でも「形

その内容としては、(1)子どもの安全対策を目的としたワークショップの開催と二ユーズレター

「なくそう犯罪」みんなで進める西京安心安全のまちづくり
桂坂学区出前防犯教室

西京警察署

この五回の開催で、延べ一八五名の方が参加しました。これらのワークショップを通して、「子どもを守る」というこの一事について様々な議論ができ、また自治会長をはじめ参加者は専門的視点からの説明を受けて、安全対策に関する多くのことを学ぶことができましたし、意外と知らなかった各種団体の取組みも理解され、学区内共同のネットワーク結束の環が広がったことがあげられます。

- 桂坂の犯罪 西京警察署大枝交番 大塩巡査部長
安全対策における三つの位相と桂坂小学校PTAの安全対策
桂坂小学校PTA 有賀PTA会長
第3回 平成17年12月3日開催
桂坂小学校における安全対策
桂坂小学校栗田校長
第4回 平成18年1月7日開催
桂坂少年補導の活動
西京少年補導委員会 柄本桂坂支部長
第5回 平成18年2月4日開催

「消防記念日」(3月7日)を前に3月5日、京都市市民防災センターにおいて「消防記念日」の表彰式

市長表彰

西京消防署 署長 長衣彰彰

「消防記念日」(3月7日)を前に3月5日、京都市市民防災センターにおいて「消防記念日」の表彰式

「なくそう犯罪」みんなで進める西京安心安全のまちづくり
桂坂学区出前防犯教室

西京警察署

この五回の開催で、延べ一八五名の方が参加しました。これらのワークショップを通して、「子どもを守る」というこの一事について様々な議論ができ、また自治会長をはじめ参加者は専門的視点からの説明を受けて、安全対策に関する多くのことを学ぶことができましたし、意外と知らなかった各種団体の取組みも理解され、学区内共同のネットワーク結束の環が広がったことがあげられます。

- 桂坂の犯罪 西京警察署大枝交番 大塩巡査部長
安全対策における三つの位相と桂坂小学校PTAの安全対策
桂坂小学校PTA 有賀PTA会長
第3回 平成17年12月3日開催
桂坂小学校における安全対策
桂坂小学校栗田校長
第4回 平成18年1月7日開催
桂坂少年補導の活動
西京少年補導委員会 柄本桂坂支部長
第5回 平成18年2月4日開催

「消防記念日」(3月7日)を前に3月5日、京都市市民防災センターにおいて「消防記念日」の表彰式

市長表彰

西京消防署 署長 長衣彰彰

「消防記念日」(3月7日)を前に3月5日、京都市市民防災センターにおいて「消防記念日」の表彰式

古紙をお出しいただく際の「お願い」

桂坂小学校PTA

「回収する品目」は新聞、雑誌、ダンボール古書類です。紙の原料となる古紙は、種類によって用途がちがいます。良質な紙を作るために、新聞、雑誌、ダンボールは、種類別に分けて出してください。リサイクルの第一歩は「分別」です。

折込広告、チラシも一緒に回収していただけます。その場合、袋の上からひもで縛っていたら、ビニール袋紙袋やビニール袋に入れてください。紙袋やビニール袋に入れてもかまいません。ひもで十字に、しっかりと縛ってください。

紙袋やビニール袋に入れてもかまいません。その場合、袋の上からひもで縛っていたら、ビニール袋紙袋やビニール袋に入れてください。紙袋やビニール袋に入れてもかまいません。ひもで十字に、しっかりと縛ってください。

紙袋やビニール袋に入れてもかまいません。その場合、袋の上からひもで縛っていたら、ビニール袋紙袋やビニール袋に入れてもかまいません。ひもで十字に、しっかりと縛ってください。

折たたんで、ひもでしっかりと縛ってください。中に発泡スチロールやゴミ等をいれないでください。古着、布類

古着 シヤツ、スカート、スポン、スーツ、セーターや肌着等の衣類全般

布類 シーツ、カーテン、タオル等(毛布もよい)ただし、裁断屑布は出さないでください。

木綿、化繊、毛糸にかかわらず、お気軽にお出しください。ただし、洗濯済み等の見本帳などは回収できません。ご注意ください。

ダンボール

夜のお帰りに

「星の坂」をどうぞ

おりばステーション

桂坂の西地区に「おりばステーション」が出来ました。その名は「星の坂」。

何とシヤレた名が付けられたことでしょうか。名の由来は、桂坂の「坂」と夜をイメージする「星」とからの命名だそうです。

防犯上から暗い夜道を歩く危険をいくらかでもなくそうということで、京阪京都交通バスと京都市バスが相合かり、「阪急桂坂 夜9時以降のバス」を「おりばステーション」で停車することにしました。

この五箇所には、歩道に

「星の坂①番」 桂坂本通り「元西友ストア前」

「星の坂②番」 南本通り「桂坂センター」と「天蓋公園前」のほぼ中間地点

「星の坂③番」 西本通り「西桂坂」と「ふれあいの里」の中間地点

「星の坂④番」 宮尾歯科医院横を北に行った地点

「星の坂⑤番」 北本通り「大枝山町西」と「桂坂小学校前」のほぼ中間地点。

この五箇所には、歩道に

「東桂坂」のバス停に「うれしい屋根」

「東桂坂」の北側のバス停に3月下旬、屋根がつけられました。

これで雨降りの時や、強い日差し時のバス待ち、大いに助かります。

「乗車はできません」が夜遅くお帰りの時は便利です。「安心・安全」への配慮、ありがたいことです。どうぞご利用ください。

プレートで提示され、そこには「深夜降車専用停留所(星の坂⑤番) おりばステーション」と明記してあります。

「乗車はできません」が夜遅くお帰りの時は便利です。「安心・安全」への配慮、ありがたいことです。どうぞご利用ください。

プレートで提示され、そこには「深夜降車専用停留所(星の坂⑤番) おりばステーション」と明記してあります。

「乗車はできません」が夜遅くお帰りの時は便利です。「安心・安全」への配慮、ありがたいことです。どうぞご利用ください。

プレートで提示され、そこには「深夜降車専用停留所(星の坂⑤番) おりばステーション」と明記してあります。

自治会対抗

卓球 十八人云

優勝は

かえで

2月18日(土)、桂坂小学校において、自治会対抗の卓球大会が行われました。

参加は一〇自治会。六〇人によるリーグ戦で、1位かえで、2位さつき、の結果になりました。

参加された皆様がたにはほんの一刻とはいいながら大変楽しんでいただきました。卓球担当 今井智之

そよ風にのせて 歌いましょう

シルフィード合唱団

シルフィード合唱団では団員を募集しています。

ご一緒に歌いませんか？ 声を出す楽しさを実感します。また、ストレスの解消にももってこいですよ。

指導してくださる素敵な先生は、けやき自治会にお住いの、ソプラノ歌手 矢本知里さんです。とても判りやすく声の出し方を教えてくださいますので、どなたでも自分でびっくりするほど自然と声が出るようになります。

嘘のようで、本当の話です。一度見学にいらしてください。

場所 桂坂小学校

去る2月18日(土)、京都テルサにて京都府消防協会による女性消防団員交流会が開催され、府内のあちこちから五〇名の女性団員が集まりました。

年齢も職業も家庭環境も様々：唯一共通しているのは「住んでいる地域のために何かやりたい」という熱い思いです。

そんな私たち消防団員の普段の活動範囲は、各地域内に限られており、同じ西京区内の他分団と交流する機会さえもつたにない中、区も市も越えて、女同士が

横原久仁子

女性消防団員 交流会に参加して

まずは

「集まれ！」 桂坂消防分団では新入団員(男女とも)募集中です。

毎月5日、20日の夜8時から団員が桂坂小学校南西端の消防団器具庫に詰め合います。

ぜひ一度、のぞきに來てください。

「安心安全の桂坂」を願ひ、 どうぞ イキな運転を！

交通安全やトラブルとは無縁の、住むに快適で「安心安全のまち・桂坂」を私たち皆でつくりましょう。

この桂坂では、桜の開花を迎えた後は、百花繚乱、さらには瑞々しい緑の季節へと、目もあやな自然の競演がくり展げられます。

こうした色彩豊かな桂坂の環境を、文字通り快適な生活空間、あるいは願わしい「終の住処」として仕立て上げ維持するのは、ほかならぬ、ここに住む私たち一人ひとりだといえます。

そこで今回、快適な空間 空気の中にある——この自然、大事にしないと、と感じました。

管理されている方が来られ、「ゆっくりしてください」と声をかけられ、ス

トープに火をつけてくださいました。毎日の生活のリズムに流されていた時に、何かすごい時が止まったような空間に出会ったように感じました。

外に出ると、保育園の子どもたちが陽だまりにしゃがんで、遊んでいました。思わずしゃがんで声をかけてしまいました。若い保育士の方も気持ちよく会話をしてくださいました。そう、ゆっくりでいいの、急がなくていいの、大地に足をつけて成長してね、と願いました。

空間 みつけた

山田佐栄子 (編集委員) 観察室で桂坂小学校の生徒さんの作品にほっとして、ベンチに腰掛け池に目をやると、鶯たちが5羽、向こうの方に百舌が飛んで、すーっと自然の中に自分も入っていく錯覚？ いいえ、実際同じ

づくりのための一つ、交通に関わる問題をとりあげてみようと思ひます。

先ずロータリー——これは、京都には珍しい交差点です。変わった代物だけに私たちが未だに上手に利用しているとはいえません。

早く、この「利用法」に精通しないと、車はロータリー内でスムーズに流れません。運転者の心理を推し量れば、そのような時の精神の「いらいら」を体験することをお厭うあまり「傍若無人」そのままに車を進入させてしまうのかも知れません。

ロータリー「そのものが交差点であり、しかも桂坂のは直径もそう大きくありませんから、この規模に相応の対応が当然必要となつてきます。

進入するときは「一旦停止」——ロータリー内の車優先ですから、まず停止線で「止まり」走行中の車の動きを確認して進入です。

「一方通行」の道路というまさしく「変則」交差点ですから、進入の際に「左折」のウインカーは出す必要はありません。しかし出る時は、事故を未然に防ぐために方向指示器を出して待機中の車に知らせる想いの気持ちは必要です。

こうして進入時に、どの車も「一旦停止」を守れば車はスムーズに流れ、ヒヤ

リ、ハツとといった心臓の止まりそうな経験もしなくすみます。先日のこと、若いお母さんが一旦停止もせずにバスの1m前をすり抜けるように進入していきまされた。いわゆるニアミスです。自分の車を「走らせろ」ことだけが頭にあって同乗の将来ある子どもさんのことなど念頭にはなかつたのかも知れません。

桂坂に生活する私たちはこの際、率先して「ロータリーの模範的な利用者」つくりを示したいものです。

対面通行の道路では「右側に駐停車」は危険です。この道路「右側」に停める車が桂坂でも次第に増えていきます。桂坂には一方通行の道路はどこにもありません。すべて「対面通行」の道路です。ご自宅、あるいは訪問先に横付けした方が都合がいいからと考えてのことでしょうか、このところ「右側駐停車」が目立つようになりまされた。

車が少なく、免許取得者もそれほど多くなかつた頃は、免許取得の講習の際、言わずもがなのことはいいながら、講師は必ず、対面通行路における右側駐停車の禁止を強調されました。ですから、運転者もこのことを承知し、さらにはモラ

ルをも弁えて「左側」に停めなければならぬと予測した時は、わざわざ遠回りまでして車を停めました。もし今のような駐車時の自由気ままさが蔓延していくようならば、交通の「体系」は無きに等しくなり、あちこちで出合い頭の事故や正面衝突などが日常茶飯事となり、「車社会」を快適に過ごすことなど到底不可能になることでしょうか。

「車社会」の破綻を来さないためには、やはり私たちのモラル、他の存在、他の車を想定した上で成立している交通の「体系」をしっかりと認めて運転するだけ、他を想い遣る心が大切ということでしょうか。

しかし、とりあげた二つの問題は、私たち桂坂の住民の努力だけで解決しようとしても無理な話です。他地域から入つて来て桂坂を走る営業車、事業所の送迎バス、公共のバスなどがあります。これらの車には、「道交法」上の「一旦停止」の標識で示されているものの、ロータリーの望ましい「利用の仕方」までは徹底して知らされていないはず。それではこれらの車に注意を喚起しよう、となると、私たちに

お手上げで、この周知徹底はしかるべき筋に、「取締まり」ではなく、あくまでも「注意・指導」の形で行っていただきたいとお願ひするほかありません。

「交通」担当のパトロールカーはもちろん、所轄の他のパトロールカーも、右

側に駐停車する「違法」を見つけたら「注意・指導」して、由々しい、この「違法」の蔓延を防ぐという息断つておきますが、何も「反則切符を切れ」といっているではありません。

ご存知のように「右側の駐停車」は、桂坂のみならず増加の傾向にあります。交通量が多くなつたこともあって京都市内でも、渋滞を緩和する一つの方策からでしょう、「一方通行」の道路が増えました。ここでは道路の左右両側に駐停車が可能です。また、宅配便など荷物の搬入車面の便宜をはかつて駐停車許可の「鑑札」をフロントガラスのところに明示しておけば駐停車も可能という「ご時世」です。こうした特例の許容される現状を目の当りにする機会が多くなつたせいもあって、結果として、意識しないままの「模倣の氾濫」ということになるのでしようか。

しかしやはり、交通の大きな「体系」の中にあつて一台の車を運転する私たちが、大なり小なり、その恩恵を受けながら安全に車を走らせることができているわけですから、他者あることを前提とした大きな交通「体系」の中の「一台」であるという、このことに充分留意して、事故やトラブルのない、快適で「安心安全のまち・桂坂」をつくり、その維持に心がけたいものです。